

争点

- ① -

厚美
(神戸大学発達科学部教授)



麻生首相は21日、衆議院を解散し、総選挙を8月18日公示、同30日投票と決めた。冷えたんだ景気を回復して格差社会の解消を目指し、医療や社会保障の充実を基本にすえた政治に転換するために、今度の総選挙は我われの要求を突きつける大きなチャンスとなる。選挙の争点について、二宮厚美氏(神戸大学発達科学部教授)に3回にわたり投稿してもらおう。

ほとんどすべてのメディアが言うように、遅すぎた総選挙の日程がやっと決まった。「遅すぎた」というのは、国民の多数が総選挙によって政権交代が起こることを期待していたからである。世論の趨勢が示すところ、来たる総選挙では、衆議院での与野党逆転が起こり、現在の衆参両院国会が是正され、民主党を中心とした政権交代が実現することは、ほぼ必至の状況にある。したがって、総選挙の最大の争点で、政権交代が現状維持かの選択にあることは、言うまでもないことだと言わなければならない。ほとんど確実に政権交代は実現するだろう。

に対する不信任である。麻生首相その人は、最近の世論調査が示すところ、個人的能力・資質、その立ち居振る舞い、各種の発言、テレビに映る表情などにおいて、大衆の人気を獲得できる政治家とはいえない。第2は、自公内閣に嫌気をもった人々の票が、民主党に流れ込む場合がある。これは、長きにわたる自公政権のマンネリズムに多くの人が漠然とした嫌気、拒否感を抱いて、政権交代を呼び起こすケースである。21世紀に入ってから以降、この日本の状態はよくなったとはいえず、最近の「百年に一度」の経済危機が端的に示すとおり、これまで

の政権では、世の中もともよくなるまい、とみなす国民が多くなっているから、このマンネリズム打破の期待をこめた政権交代が起こる理由は十分ある、と考えなければならぬ。第3は、各政党のマンフレットを照らしあわせ、たうでの政権交代である。この場合の政権交代は、国民の政策的判断・評価にもとづく変革になるから、当然、長期におよぶ政治変革の第一歩としての意義を持つことになるだろう。要するに、総選挙で問われるのは、政権交代自体ではなく、いかなる意味をもった政権交代なのかなのである。

交代が起こるのか、その理由にある。その理由をどこに求めるのかが、総選挙の争点になるはずである。おおつかみについて、国民の判断は3つに分かれる。第1は、麻生首相個人

問われる政権交代の意味

首相不信、自公政権拒否、政策判断



7/25
2009年第1016号
(毎月5、15、25日発行)

協会・保団連は、低迷する国民の消費を拡大し不況から脱却する最も効果的な方法として、緊急に消費税を減税、することが適していると考え、署名運動に取り組みます。今号の機関紙に、署名用紙および宣伝パンフレットを同封しますので、ご活用をお願い致します。

消費税を増税の上、社会保障目的の税化して「社会保障のすべてを賄う」とすれば、消費税の増税が必要となります。消費税を増税の上、社会保障目的の税化して「社会保障のすべてを賄う」とすれば、消費税の増税が必要となります。消費税を増税の上、社会保障目的の税化して「社会保障のすべてを賄う」とすれば、消費税の増税が必要となります。

今、必要な経済対策は、外需から内需へ経済の軸足を移し、雇用環境の改善、社会保障の充実

たたちに消費税を減税し、医療へのゼロ税率適用を求める請願

協会・保団連緊急の取り組み

消費税減税を総選挙争点に

パンフ活用し、ぜひ署名にご協力を

協会・保団連は、低迷する国民の消費を拡大し不況から脱却する最も効果的な方法として、緊急に消費税を減税、することが適していると考え、署名運動に取り組みます。今号の機関紙に、署名用紙および宣伝パンフレットを同封しますので、ご活用をお願い致します。

パンフは消費税のしんみや医療機関とのかかわり、社会保障の財源としてあきらかに重要なことを、欧米諸国とも比較しながら分かりやすく解説しています。また、軽減税率や消費税「ゼロ税率」運動の広がりなどがあつていっています。

医療どお〜ナル 最終回の撮影終わる

大阪医科・歯科協会でつづける地上波テレビ番組「医療どお〜ナル」の最終撮影が11日、保険医会館と此花区・北港で行われた。最終回となる歯科の撮影が11日、保険医会館と此花区・北港で行われた。最終回となる歯科の撮影が11日、保険医会館と此花区・北港で行われた。

●午後の部 (13時30分〜16時)
●「次期改定と歯科医療の展望(仮)」
●「レセプトオンライン義務化撤回訴訟の意義」
●特別報告「海外技工と国内歯科技工」
●参加費無料、午前・午後通して参加の先生にはお弁当を配布します

「外国人A」ハイ！(振り返るが、また歯のない外国人「2人」はあ!!)
「外国人B」(振り返るが、また歯のない外国人「2人」はあ!!)
「外国人A」ハイ！(振り返るが、また歯のない外国人「2人」はあ!!)

各種相談室

専門家がごこたえします

- 法律相談 【日 時】9月7日(月)午後2時〜4時
- 税務相談 【日 時】9月16日(水)午後2時〜4時
- 雇用相談 【日 時】9月17日(木)午後2時〜4時

「強い者は偉い無能な弱者を置き去りにしてこそ進歩と繁栄がある」という短絡的な価値観が主流になりそうな勢いがある。言い訳みたいな脆弱なセーフティ・ネットさえも悪知恵豊かな有能強者の餌食になっている。この種の「変革」を食い止めるのもあなたの一

「変革」という言葉がその方向性を決めないまままで意見を異にする人どうしの中でも魅力を持っている時代らしい。ほとんど直接競争に巻き込まれずに豊かさだけを指して半世紀以上も経過した。軽薄な拝金主義や我がままが容認され、「甘えの構造」という本が大売れしたりした。評価も批判も混在する中で、どうでも取れる「変革」をキヤッチ・フリーズにして小泉自民党が大勝した。その結果として、その後の日本は主権国家としては恥ずかしい程、アメリカの言いなりになった。

歯界

選挙管理委員会のキヤッチ・フリーズに「あなたの一票が世を変えろ」とある。